


数字で振り返る平成30年度

■来所者数は3,961名!

字幕入り映像ライブラリーの利用や、交流スペースでの学習、講座や研修会など、多くの方にご利用いただきました。盲ろう者通訳・介助員養成研修事業を今年度から受託したこともあり、研修室の利用が昨年度よりも584人増えています。

■書籍の貸出がスタート!



字幕入り映像ライブラリーの貸し出しは426件。聴覚障害に関する内容の作品に人気がありました。手話学習者が教材を視聴されることも多く、交流スペースでの視聴は158件ありました。9月からご要望が多かった書籍の貸出を始め、143冊の利用がありました。

■みみサポサロンは15市町で33回!

生活に密着した健康や防災などを取り上げた講話や、参加者同士の交流を行いました。平成30年度は、のべ378名の方とお会いすることができました。



■手話動画の再生回数は149,570回!

ホームページで52作品の手話動画を配信しました。再生回数は平成29年度と比べて26,791件も増加! 時事問題を取り上げたものや、季節に関連した内容のものが人気でした。ホームページの総アクセス数も年間157,911件と平成29年度から3万件以上の増加。スマートフォンやタブレットからもご覧いただける手軽さが、アクセス数の増加につながっているようです。

■そのほかの取り組み

相談支援の件数は1,041件。来所や訪問、電話やメールなどの方法で、補聴器や日常生活用具の申請や周囲とのコミュニケーションに関する事、仕事に関する相談に対応しました。出前講座は、一般市民や民生委員、地域防災リーダー向けの研修会などで、聴覚障害の基礎知識やコミュニケーションのコツなどをテーマとした講座を計14回実施しました。

大崎地域広域行政事務組合消防本部 NET119 緊急通報システム登録説明会



今年4月から運用が開始されたNET119緊急通報システムの登録説明会が4月14日(日)に大崎地域

広域行政事務組合消防本部にて行われ、情報保障等でみみサポみやぎも協力しました。来られた方の半数が登録し、119番通報の練習も行いました。操作が簡単で、万が一の時に周りに誰もいない時でもスムーズに通報ができます。今後、県内の他管轄でもNET119が導入される予定です。

宮城県要約筆記者養成講座 受講生募集開始!

県内在住で、講座修了後、要約筆記者として登録し活動する意思のある方。手書き、パソコン、両方のコースを同時期に受講可能です。パソコンコースはパソコンの持参及びパソコンの基本操作、入力ができる方(入力スピード50字/分以上)が対象。申込書はみみサポHPでダウンロード可。
申込〆切5月30日(木) 当日消印有効。